ＩＨフライヤー

取扱説明書

IHフライヤー

型式 ／ DF4D3B

もくじ

●このたびは、プロシェフIHフライヤーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。

●お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。

CHUBU

株式会社 中部コーポレーション

■安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のようになっています。

⚠	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
⚠	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体意的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文字で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
アース工事	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事を必ず行うこと」を示します。

⚠ 警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと

異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

⚠ 警　告

●吸気口、排気口をふさがないこと
ユニット等の温度が高くなり、やけどする恐れがあります。
禁　止

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。
油槽内に水等が入ると油が跳ね、やけどの原因になります。
湿気禁止

●屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。
屋外禁止

●上方には必ずフード（グリス除去装置付）を設けること
フードを設置しないと、火災の原因になります。
フード設置

●振動、衝撃の多い場所には設置しないこと
機器の故障、油の飛散による、やけど・ケガ・感電の原因になります。
禁　止

●粉塵の多い場所には設置しないこと
機器が故障し、火災・漏電の原因になります。
禁　止

●電源コードに油が飛散しないように設置すること
電源コードが劣化し、漏電・感電・火災の原因になります。
厳　守

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが
不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業社による第３種設置工事が必要です）
アース工事

●電気配線工事は、電気工事の法的有資格者が行うこと
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。
厳　守

●電源は三相２００Ｖを使用すること
異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。
専用電源

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと
メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。
禁　止

●製品１台ごとに１個の漏電遮断器を設置すること
（推奨漏電遮断器定格電流：30A　、感度電流 30mA）
この工事をしないと、異常時に配線が発熱し、火災の原因になります。
設置厳守

●心臓用ペースメーカーをご使用の方が、本機をご使用される場合は、
心臓用ペースメーカーの取扱説明書及び担当医師の指示に従うこと
本機の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。
医師と相談

⚠ 警　告

● **本体に水をかけないこと**

漏電・感電・火災の原因になります。
油槽内に水等が入ると油が跳ね、やけどの原因になります。

水かけ禁止

● **濡れた手で漏電ブレーカーなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと**

感電の原因になります。

濡手禁止

● **固形状の油は予熱機能にて事前に溶かし、液状にしてから運転すること**

固形状のまま運転すると、油槽が空焚き状態となり、機器の故障・火災の原因になります

禁　止

● **可燃物や引火物を機器のそばに置いたり、近づけたりしないこと**

機器周辺に、可燃物（カーテンなど布類、新聞紙など紙類）や引火物（エアゾール缶など）を置くと、爆発・火災の原因になります。

禁　止

● **調理中は事故防止のため、そばを離れないこと**

調理中その場を離れると食材が焦げたり、発火したりして火災の原因になります。

禁　止

● **機器周辺の改装はしないこと**

機器設置後に、機器周辺の改装（フードを外し、吊戸棚を付ける等）を行うと、換気不能となり、火災の原因や衛生上の問題を起こします。

禁　止

● **運転中・運転後は、操作部以外に触れないこと**

運転中・運転後は、高温になっている恐れがあるので、操作部以外に触れるとヤケドの原因になります。清掃などによりやむを得ず触れる場合は、冷めた事を十分ご確認ください。

接触禁止

● **カゴやアミを使用しないで調理物を取出すときは必ず菜箸等を使用して取出すこと**

素手で取出すと、やけどの原因になります。

禁　止

● **水を使用するときは機器に近寄らないこと**

油槽に水等が入りますと油が跳ね、やけどの原因になります。

禁　止

● **子供など取扱に不慣れなかただけで使わせたり、幼児に触れさせたりしないこと**

やけど・ケガ・感電の原因になります。

禁　止

● **異常時は運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄の販売店へ連絡すること**

異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

元電源 OFF

⚠ 注　意

●丈夫で平らな不燃構造の床の上に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

●吸気フィルターに目詰まりがないこと
電気部品を損傷する原因になることがあります。

目詰注意

●吸気フィルターが取付けられていること
ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

取付厳守

●磁気製品を近づけないこと
磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

禁　止

●機器使用後は本機に接続してある漏電遮断器を｢OFF｣にすること
機器使用後も漏電遮断器が｢ON｣のままの場合、発熱・発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

●長時間使用しない場合は漏電遮断器が｢OFF｣になっていることを確認すること
長時間、漏電遮断器が｢ON｣のままの場合、発熱・発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

●調理は適正な温度で行うこと
過度な油温で使用すると、食材が発火し、火災の原因になります。

油温注意

●調理中は油量に注意すること
調理中は食材が油分を吸収して油量が減っていきますので、常に油槽内の油量が適正な量となっている事を確認してください。不足時は少量ずつ油を汲み取り、油槽の角から流し込んで補充してください。（１斗缶から直接油槽にいれると高温の油が跳ね上がり大変危険ですので、絶対に行わないでください。）

油量注意

●機器使用中は必ず換気を行うこと
締め切った部屋で長時間使用すると、室内に油煙や湿気がたまり、健康・衛生上の問題を起こす原因となります。

注　意

●調理中は油の跳ね上がりに注意すること
冷凍食品等は油の跳ね上がりがおこりやすいので、やけどに十分注意してください。

注　意

●揚げ物以外の目的で使用しないこと
異常加熱等がおこり、焼損・火災の原因になることがあります。

禁　止

●排油は油が十分冷えてから行うこと
油が高温の状態で排油すると、やけどの原因になります。

やけど注意

●排油は静かに少しずつ行うこと
一気に排油を行うと油が跳ねてやけどの原因になります。
跳ねた油が部品等にかかると機器が故障する原因となります。

注　意

注　意

● **付属品以外のものを本機に取付けないこと**

敷き網や油切り等の付属品以外のものを本機に取付けると、温度センサー等の誤作動を起こし正常な運転ができなくなる恐れがあります。

● **このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品の目立つ所にテープ止めすること**

● **廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること**

放置しますとケガの原因になることがあります。

■各部のなまえとその働き

■本体

■操作パネル

表示窓内容ランプ(緑)
・表示窓に示される数値意味を示します
・タイム表示：予熱終了までの時間（分）を示します
・%：予熱時のパワー値（変更不可）を示します
・℃：点灯時は設定温度、点滅時は実温度を示します
電源ランプ(赤)
・点灯時：運転待機中
「表示切替」スイッチ
・表示窓の表示を切替えます
運転中ランプ(赤)
・点灯時：運転中
適温ランプ(緑)
・実温度が設定温度付近になると点灯します
「運転 入/切」スイッチ
・運転の開始又は停止を行います
・ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ移行/解除を行います
表示窓(赤色セグメント)
・温度、タイム、パワー値、エラー記号を表示します
・ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞ時は、ドット（点状LED）が点滅します
パワーランプ(赤)
・火力の強弱を示します
「∧」「∨」スイッチ
・設定値を変更します
電源
運転中
%
タイム表示
℃ 点灯/設定温度
点滅/実 温 度
CHUBU
運転
入/切
表示
切替
適温
「セット」スイッチ
・温度設定スイッチの記憶
設定時に使用します
弱
強
パワー
予熱中
予熱
高
中
低
セット
設定スイッチ
高，中，低 ランプ(緑)
・「高」「中」「低」スイッチ選択時に点灯します
予熱中ランプ(赤)
・予熱運転中に点滅します
「高」「中」「低」スイッチ
・各スイッチに記憶されている設定値を呼出します
「予熱」スイッチ
・固形油を溶かす時に使用します

■付属品

取扱説明書（本書）

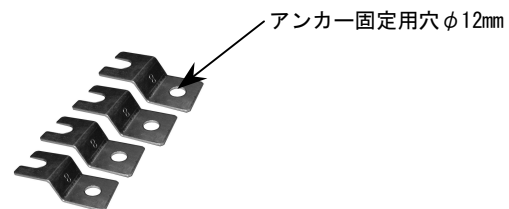
フィルター（予備）
（油槽下用１枚、ユニット下用１枚）

ドーナツ押え

油切り

網台兼網取手ホルダー付き（４ヶ所）脱着可

網取手（２組）

網台（２組）

アジャスター押え金具（４個）

※固定アンカーは付属しておりません。
固定には、M10 用アンカーをご使用ください。

■注意ラベルの貼付位置

お願い！

●ラベルを剥がさないでください。
●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、張り替えてください。
　ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：ＰＬラベル DF3M3A052

⚠ 警　告

よく読む　この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解して下さい。

やけど注意　油槽やカバーは高温になります。操作部以外はさわらないでください。清掃時などやむを得ずさわる場合は、冷めた事をよく確認してください。

水かけ厳禁　機器に水をかけないでください。油が跳ね、大変危険です。また、機器が故障する原因となります。

お願い
● ご使用になる前に、必ず適正な量の油を油槽に入れてください。使用中に油が少なくなってきたら、補充してください。
● フィルターは週１回を目安に清掃してください。

品名：FIL 注意シール DD21DA051

⚠ 注　意

「FIL」が表示されたら、フィルター清掃を行ってください。
清掃完了後は「セット（設定）」スイッチを押し、
表示をリセットしてください。

品名：ハンドル開警報シール DF3M3B007

⚠ 注　意

「nP」が表示された場合は、排油ハンドルを開けた状態で運転しています。排油ハンドルを完全に閉め、油槽に適正な量の油が入っている事を確認し、再度運転してください。

品名：ＰＬラベル/カンデン 726

感電注意

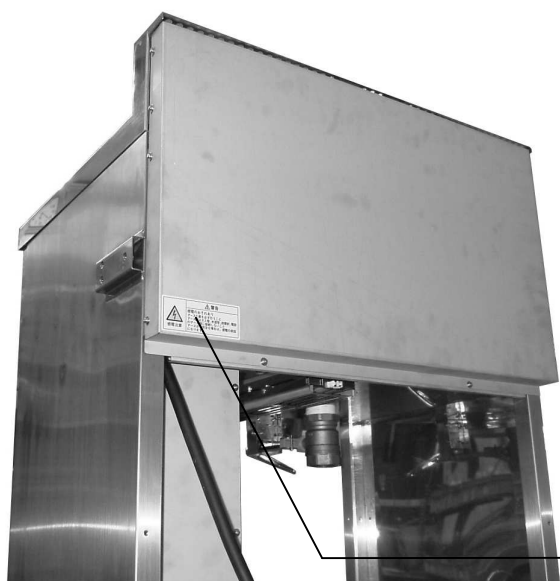
⚠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解しないで下さい。内部には高電圧部分がありますので、万一さわると危険です。

COM39-726

品名：ＰＬラベル/カンデン 702

感電注意

⚠ 警告

感電のおそれあり
アースエ事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
アース線が不完全な場合は、感電の原因になります。

■工事・設置

警　告

内容	表示
●吸気口、排気口をふさがないこと ユニット等の温度が高くなり、やけどする恐れがあります。	禁　止
●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。 油槽内に水等が入ると油が跳ね、やけどの原因になります。	湿気禁止
●屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。	屋外禁止
●上方には必ずフード（グリス除去装置付）を設けること フードを設置しないと、火災の原因になります。	フード設置
●振動、衝撃の多い場所には設置しないこと 機器の故障、油の飛散による、やけど・ケガ・感電の原因になります。	禁　止
●粉塵の多い場所には設置しないこと 機器が故障し、火災・漏電の原因になります。	禁　止
●電源コードに油が飛散しないように設置すること 電源コードが劣化し、漏電・感電・火災の原因になります。	厳　守
●アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業社による第３種設置工事が必要です）	アース工事
●電気配線工事は、電気工事の法的有資格者が行うこと 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。	厳　守
●電源は三相２００Ｖを使用すること 異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。	専用電源
●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと メガーテストを行うと、製品が焼損または破損します。	禁　止
●製品１台ごとに１個の漏電遮断器を設置すること **（推奨漏電遮断器定格電流：30A　、感度電流 30mA）** この工事をしないと、異常時に配線が発熱し、火災の原因になります。	設置厳守

⚠ 注　意

● 丈夫で平らな不燃構造の床の上に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

● 付属品以外のものを本機に取付けないこと

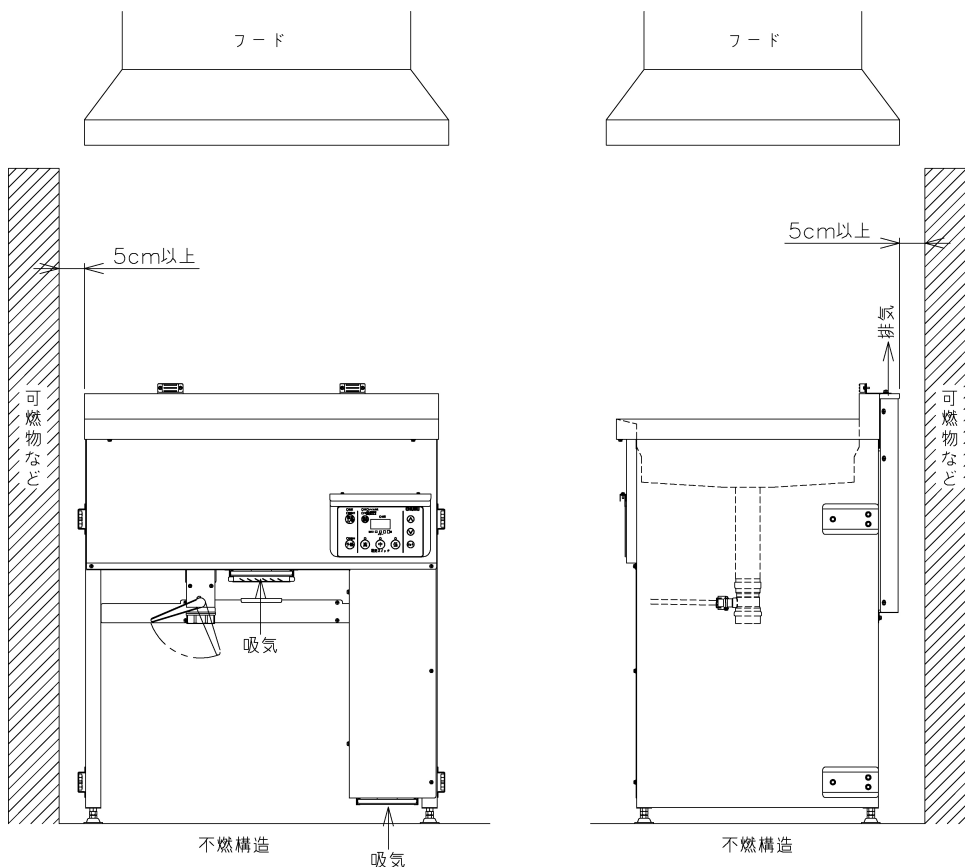
敷き網や油切り等の付属品以外のものを本機に取付けると、温度センサー等の誤作動を起こし、正常な運転ができなくなる恐れがあります

禁　止

●設置場所の確認

可燃物からの隔離距離は以下のとおりにして設置してください。

可燃物等からの隔離距離		
上方	側方	後方
フード	５ｃｍ以上	５ｃｍ以上

※不燃物の場合はこの限りではありません。

●ガタツキの確認

機器にガタツキがある場合は、付属のアジャスター固定金具を利用し、ガタツキを防止して下さい。

■運転前の確認

⚠ 警　告

● **可燃物や引火物を機器のそばに置いたり、近づけたりしないこと**
機器周辺に、可燃物（カーテンなど布類、新聞紙など紙類）や引火物（エアゾール缶など）を置くと、爆発・火災の原因になります。

禁　止

● **機器周辺の改装はしないこと**
機器設置後に、機器周辺の改装（フードを外し、吊戸棚を付ける等）を行うと、換気不能となり、火災の原因や衛生上の問題を起こします。

禁　止

⚠ 注　意

● **丈夫で平らな不燃構造の床の上に水平になるように据え付けること**
据え付けに不備があると転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

水平設置

● **吸気フィルターに目詰まりがないこと**
電気部品を損傷する原因になることがあります。

目詰注意

● **吸気フィルターが取付けられていること**
ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

取付厳守

● **付属品以外のものを本機に取付けないこと**
敷き網や油切り等の付属品以外のものを本機に取付けると、温度センサー等の誤作動を起こし正常な運転ができなくなる恐れがあります。

禁　止

■運転前の確認

１．吸気口、排気口がふさがれていないか確認します。
　●吸気口は、油槽下部及びユニット下部を確認します。
　●排気口は、機器背面部を確認します。

２．機器のガタツキを無くします。
　●脚の底に取付けられているレベルアジャスターを調節し、油槽を水平にし、ガタツキを無くします。

３．吸気フィルターを確認します。
　●吸気フィルター（油槽下部及びユニット下部）に目詰まりがないか確認します。
　●吸気フィルター（油槽下部及びユニット下部）が取付けられているか確認します。
　※フィルターの取外し・取付け方法参照（20 ページ）

４．電源を投入します。
　●漏電遮断器を ON にします。

お願い
初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが付着している恐れがありますので、油槽内や付属品を清掃してください。

■ご使用方法

⚠ 警　告

● **心臓用ペースメーカーをご使用の方が、本機をご使用される場合は、心臓用ペースメーカーの取扱説明書及び担当医師の指示に従うこと**
本機の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。

医師と相談

● **本体に水をかけないこと**
漏電・感電・火災の原因になります。
油槽内に水等が入ると油が跳ね、やけどの原因になります。

水かけ禁止

● **濡れた手で漏電ブレーカーなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと**
感電の原因になります。

濡手禁止

● **固形状の油は予熱機能にて事前に溶かし、液状にしてから運転すること**
固形状のまま運転すると、油槽が空焚き状態となり、機器の故障・火災の原因になります。

禁　止

● **可燃物や引火物を機器のそばに置いたり、近づけたりしないこと**
機器周辺に、可燃物（カーテンなど布類、新聞紙など紙類）や引火物（エアゾール缶など）を置くと、爆発・火災の原因になります。

禁　止

● **調理中は事故防止のため、そばを離れないこと**
調理中その場を離れると食材が焦げたり、発火したりして火災の原因になります。

禁　止

● **運転中・運転後は、操作部以外に触れないこと**
運転中・運転後は、高温になっている恐れがあるので、操作部以外に触れるとヤケドの原因になります。清掃などによりやむを得ず触れる場合は、冷めた事を十分ご確認ください。

接触禁止

● **カゴやアミを使用しないで調理物を取出すときは必ず菜箸等を使用して取出すこと**
素手で取出すと、やけどの原因になります。

禁　止

● **水を使用するときは機器に近寄らないこと**
油槽に水等が入りますと油が跳ね、やけどの原因になります。

禁　止

● **子供など取扱に不慣れなかただけで使わせたり、幼児に触れさせたりしないこと**
やけど・ケガ・感電の原因になります。

禁　止

● **異常時は運転を停止し、元電源を切って、すぐに最寄の販売店へ連絡すること**
異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

元電源 OFF

⚠ 注　意

●磁気製品を近づけないこと

磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。

禁　止

●機器使用後は本機に接続してある漏電遮断器を「OFF」にすること

機器使用後も漏電遮断器が「ON」のままの場合、発熱・発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

●長時間使用しない場合は漏電遮断器が「OFF」になっていることを確認すること

長時間、漏電遮断器が「ON」のままの場合、発熱・発火の原因になることがあります。

元電源 OFF

●調理は適正な温度で行うこと

過度な油温で使用すると、食材が発火し、火災の原因になります。

油温注意

●調理中は油量に注意すること

調理中は食材が油分を吸収して油量が減っていきますので、常に油槽内の油量が適正な量となっている事を確認してください。不足時は少量ずつ油を汲み取り、油槽の角から流し込んで補充してください。（１斗缶から直接油槽にいれると高温の油が跳ね上がり大変危険ですので、絶対に行わないでください。）

油量注意

●機器使用中は必ず換気を行うこと

締め切った部屋で長時間使用すると、室内に油煙や湿気がたまり、健康・衛生上の問題を起こす原因となります。

注　意

●調理中は油の跳ね上がりに注意すること

冷凍食品等は油の跳ね上がりがおこりやすいので、やけどに十分注意してください。

注　意

●揚げ物以外の目的で使用しないこと

異常加熱等がおこり、焼損・火災の原因になることがあります。

禁　止

■誤動作防止機能（スリープモード）のご案内

１．運転停止中の誤動作防止の為、スリープモードにする事ができます。

●運転停止中に「運転 入/切」スイッチを長押しします。

→「ピー」という音と共にスリープモードに移行します。

→<u>スリープモードに移行するまでに「運転　入／切」スイッチの長押しをやめると、運転を開始しますので、ご注意下さい。</u>

→表示窓には、ドット（点状の LED）が点滅します。（その他の LED は全て消灯）

※スリープモード中は、各スイッチが利きません。

２．スリープモードの解除

●スリープモード中に「運転 入/切」スイッチを長押しします。

→「ピー」という音と共にスリープモードが解除されます。

→表示窓及び各 LED は、スリープモード移行前の状態に復帰します。

※各スイッチが利くようになります。

■運転前の手順

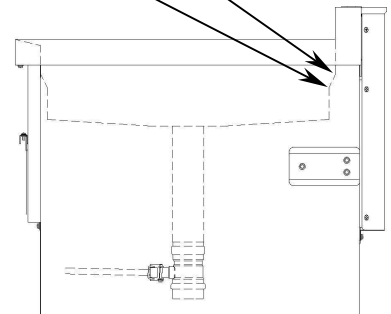
１．排油ハンドルが閉方向へ確実に回されているか確認します。

●排油ハンドルを閉方向へ回しきります。

２．ドーナツ押えが必要な場合は油槽に取付けます。

●ドーナツ押えの奥両側の丸棒を、油槽のドーナツ押えヒンジ金具に嵌め込みます。

３．油を油槽に入れます。

●油槽に適量の油を入れます。
（油量の目安を下図に示します。）

４．運転の手順に従い運転します。

●次項（運転の手順）参照。

■運転の手順（液状の油を使用する場合は、手順３から進めます）

１．固形油を溶かします。

●固形油を油槽内に投入し、操作パネルの「予熱」スイッチを押します。

→「ピー」という音と共に低温加熱を開始します。

→運転中ランプが点灯し、予熱中ランプが点滅します。

→予熱は、「予熱」スイッチが押されてから３０分後に自動停止します。

※表示窓には、終了までの時間（分）が表示されます。

※「表示切替」スイッチを押すと、表示窓の表示内容が変わります。

→予熱中に「予熱」スイッチを押すと、予熱が再スタートされます。

２．固形油が溶けたら予熱を停止します。

●「運転 入/切」スイッチを押し、予熱を停止します。

→運転中ランプ・予熱中ランプが消灯します。

３．希望の油温度を設定する。

●操作パネルの温度設定スイッチ（「大」「中」「小」スイッチ）を押すと、スイッチに記憶された温度を設定できます。

→表示窓に、設定温度が表示されます。

→選択した「大」「中」「小」スイッチのランプ（緑）が点灯します。

●「∧」又は「∨」スイッチを押すと、１℃単位にて温度を設定できます。

→表示窓に、設定温度が表示されます。（設定可能温度 50～200℃）

４．運転を開始する。

●「運転 入/切」スイッチを押すと、運転を開始します。

→運転中ランプ（赤）が点灯します。

●「表示切替」スイッチを押すと、表示窓の表示の実温度と設定温度の切替えが可能です。

→表示窓が設定温度を表示している場合は、表示切替ランプ（緑）が点灯します。

→表示窓が実温度を表示している場合は、表示切替ランプ（緑）が点滅します。

●運転中でも設定温度の変更が可能です。

→設定温度を変更すると、表示窓が実温度を表示している場合は、設定温度の表示に切替ります。

５．適温になったら、食材を投入します。

●油温度が設定温度付近まで到達したら、食材を投入し調理します。

→適温ランプ（緑）が点灯します。

６．運転を停止します。

●運転中に「運転 入/切」スイッチを押すと、運転を停止します。

→運転中ランプ（赤）が消灯します。

７．１日の営業終了時など、しばらく使用しない場合は、運転を停止後、元電源を切ります。

■温度設定スイッチの設定温度記憶手順

１．記憶させたいスイッチを選択します。

●表示窓の表示が点滅するまで、「セット」スイッチを押したまま、記憶させたいスイッチ（「大」「中」「小」いずれかのスイッチ）を長押しします。

２．記憶させたい温度を変更します。

●「∧」又は「∨」スイッチを押すと、１℃単位にて温度を変更できます。

→設定可能温度 50～200℃

３．変更した温度を記憶させます。

●「セット」スイッチを押すと、記憶します。

→表示窓は、記憶した温度を表示します。

■　ドーナツ押えの使用方法

１．　ドーナツ押えの取手を持ちます。

２．　ドーナツ押え吸着金具に当たるまで、ドーナツ押えを上げます。
●ドーナツ押え吸着金具に、ドーナツ押えが吸着し固定されます。

３．　ドーナツ押えを下げる場合は、ドーナツ押えの取手を持ち、手前に引くと、ドーナツ押え吸着金具からドーナツ押えが離れ、下げる事ができます。

注意！

ドーナツ押えは静かに下げて下さい。勢い良く下げると油が跳ね、やけどする恐れがあります。

■お手入れ

警　告

●本体に水をかけないこと

漏電・感電・火災の原因になります。
油槽内に水等が入ると油が跳ね、やけどの原因になります。

●濡れた手で漏電ブレーカーなど電気部品に触れたり、スイッチ類を操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

注　意

●吸気フィルターに目詰まりがないこと

ヤケドをしたり、電気部品を損傷する原因になることがあります。

目詰注意

●吸気フィルターが取付けられていること

ユニット内にほこりなどがたまり、漏電・火災の原因になります。

取付厳守

●排油は油が十分冷えてから行うこと

油が高温の状態で排油すると、やけどの原因になります。

やけど注意

●排油は静かに少しずつ行うこと

一気に排油を行うと油が跳ねてやけどの原因になります。
跳ねた油が部品等にかかると機器が故障する原因となります。

注　意

■日常のお手入れ

１．機器本体の清掃

●湿った布で拭いてください。

●汚れがひどい場合は、中性洗剤を布などにしみこませて拭いてください。

２．油槽の清掃

●排油終了後、油槽が汚れていたら、中性洗剤を直接かけ、しばらく放置し汚れが浮いてきたら拭き取ってください。

●排油時に揚げカスが残っていたら、取除いてください。

３．フィルターの清掃

●フィルターが汚れていれば、清掃してください。

※フィルターの取外し・取付け方法参照（20 ページ）

●汚れがひどい場合は、中性洗剤で漬け置き洗いをし、自然乾燥させてください。

注意！ フィルターが湿った状態で取付けないでください。

■排油の方法

１．運転が停止していることを確認します

●運転中ランプが消灯していることを確認します。

●運転中の場合は、必ず運転を停止してください。

２．油缶（別途）を設置します

●油缶に、油が入っていない事を確認します。

●油缶を、油槽下部の排油管下部に設置します。

。

３．排油ハンドルを回します

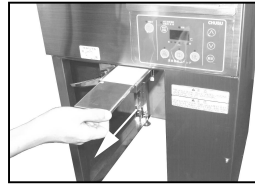
●排油ハンドルをゆっくりと開方向へ回してください。

■フィルターの取外し・取付け方法

１．フィルターカバーの取外し

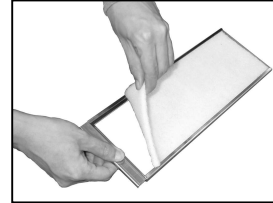
●フィルターカバーを手前に引くと外れます。

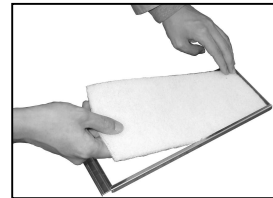
注意！

フィルターは、油槽下と
ユニット下にあります。

油槽下部

ユニット下部

２．フィルターの取外し

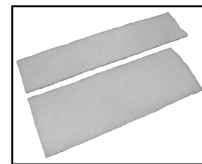
●フィルターカバーに挟みこんであるフィルターを
取外します。

３．フィルターの取付け

●フィルターをフィルターカバーに挟み込みます。

４．フィルターカバーの取付け

●フィルターを挟み込んだ面を上（機器側）にし、
フィルターカバーを取付けます。
→奥まで差込むと、フィルターカバーが機器側の
磁石に吸着し固定されます。

■消耗品の紹介

●フィルター

・フィルターの目詰まりが取れなくなったら、販売会社より
購入し、取替えてください。

●吸気ファン

・３年に１回を目安として新しいものと交換してください。
・交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので、販売
会社にご依頼ください。

■点検

■年に１～２回の点検

⚠ 警　告

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

■電源コードの点検

●電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか。

・異常がある場合は、販売会社または電気店にご相談ください。

■保管方法

●元電源を切り、直射日光を避け、湿気の無いところに保管ください。

■譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注　意

● **このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること**

■廃棄

⚠ 注　意

● **廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること**
放置しますとケガの原因になります。

■故障の見分け方と処置方法

⚠ 警　告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

お願い！ 故障かな？と思ったら、次の事をお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄の当社営業所へご連絡ください。

症状	原因	処置方法
表示窓に点状の LED が１点のみ点滅している。	●誤動作防止機能（スリープモード）が作動中です。	●「運転　入/切」スイッチを長押しすると通常状態に復帰します。（14 ページを参照下さい。）
表示窓に何も表示されていない	●漏電遮断器が OFF になっている。	●漏電遮断器を ON にしてください。
表示窓に、ＦＩＬと表示している	●フィルター清掃警報が出ました。（100 時間毎に表示）	●フィルターを清掃して下さい。 ・「設定」以外のスイッチを押すと通常表示となり、１分後に再び FIL 点滅（警報一時解除） ・「設定」スイッチを押すとブザー音が鳴り、解除されます。
表示窓に、ｎＰと表示され運転を停止している	●加熱中に排油ハンドルが開いています。	●排油ハンドルを閉方向へ確実に回してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＯＨと表示され運転を停止している	●吸気口からの吸気に不具合があり、制御ユニット内の冷却ができていない。	●ユニット下部のフィルターを清掃してください。 ●ユニット下部の吸気口を確保してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
	●排気口（本体背面）が塞がれており、制御ﾕﾆｯﾄ内の冷却ができていない。	●排気口（本体背面）を確保してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＣＨと表示され運転を停止している	●吸気口からの吸気に不具合があり、コイルユニット内の冷却ができていない。	●油槽下部のフィルターを清掃してください。 ●油槽下部の吸気口を確保してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
	●排気口（本体背面）が塞がれており、ｺｲﾙﾕﾆｯﾄ内の冷却ができていない。	●排気口（本体背面）を確保してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＣＦと表示され運転を停止している	●油槽が空焚き状態となっています。	●油槽に適正な量の油を投入してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
	●油が過昇温度状態となっています。	●油温が 200℃以下となるまで運転を停止してください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＬＵと表示され運転を停止している	●機器に必要な電圧が低い。 ●単相電源で運転している。	●正しい電源を使用してください。
表示窓に、ＳＬと表示され運転を停止している	●油温度が設定温度付近になるまでに時間がかかりすぎています。	●運転中は適温ランプが点灯するまで、食材を投入しないでください。 ●運転入/切スイッチを押すとエラーを解除します。
表示窓に、ＯＳと表示され運転を停止している	●温度センサーが正しく検知していません。	●温度センサーに異常がありますので、電源を切って運転を停止し、販売店に連絡してください。
表示窓に、Er1 と表示され運転を停止している	●制御ユニット内のＣＰＵメモリーに異常が発生しました。	●漏電遮断器をＯＦＦ→ＯＮして、電源を再投入してください。
表示窓に、Er2 と表示され運転を停止している	●制御ユニット内のＣＰＵに異常が発生しました。	
機器の金属部分に触れるとピリピリと不快な感触がある	●アースが接続されていません。	●有資格者によるアース工事を行ってください。
油槽からチリチリと音がする	●温度制御の為、火力を絞って運転している時に、チリチリと音がしますが、故障ではありません。	――――――

■仕様

品名	ＩＨフライヤー
型式	DF4D3B
外形寸法	幅 740×奥行 620×高さ 870㎜
定格油量	21 ﾘｯﾄﾙ
定格電源	3 相 200V　50/60Hz
定格消費電力	6.8kW
質量（重量）	約 60kg
付属品	網取手（2 台）、油切り（網台兼網取りホルダー4 台付き） 網台（2 台）、ドーナツ押え、アジャスター押え金具（4 個） 予備用ﾌｨﾙﾀｰ（2 種）、取扱説明書